

# 南幌町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

南幌町は、石狩平野のほぼ中央に位置し、山ひとつなく平坦な町で、北東には岩見沢市に接し、南東は旧夕張川を隔てて長沼町に続き、南西は千歳川を挟んで北広島市並びに江別市と隣接している。面積は、81.36km<sup>2</sup>、人口は、7,573人(平成31年1月1日)で、平成10年10月には人口1万人に達したものの、その後、人口の減少及び高齢化率の上昇が続いている。

町内では、北海道中央バス(株)、ジェイ・アール北海道バス(株)、夕張鉄道(株)の3社による路線バスが運行しており、路線バスの無い交通空白地域を主な経路として町内巡回バスを運行し幹線系統と接続している。

町内外における買い物や通院等の生活行動の大半が自家用車に強く依存しているが、移動手段として公共交通を必要としている高齢者等もいることから、交通空白地域から幹線バスへの効果的な乗り継ぎを可能とした町内巡回バスの運行を開始している。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

年 度	1日平均利用者数	満足度
令和元年度	20人/日	90.0%

## 令和2年度事業概要

- 運賃: 大人200円、小学生以下100円(障がい者等の運賃は5割引)※市街地区での乗降は大人170円、小学生以下90円
- 運行日: 週2回、火曜日と木曜日
- 便数: 1日3便
- 運休日等: 運休日は月、水、金、土、日曜日、祝日。年末年始は12/31～1/4まで運休
- 運行路線
  - ・南幌循環線A①: 南幌ビューロー～町立病院～役場～保健福祉総合センター～なんぼろ温泉～町立病院～役場～保健福祉総合センター～南幌ビューロー
  - ・南幌循環線A②: 南幌ビューロー～なんぼろ温泉～町立病院～役場～南幌ビューロー
  - ・南幌循環線B①: 南幌ビューロー～保健福祉総合センター～役場～町立病院～なんぼろ温泉～町立病院～役場～保健福祉総合センター～南幌ビューロー
  - ・南幌循環線B②: 南幌ビューロー～なんぼろ温泉～町立病院～役場～南幌ビューロー

## 地域公共交通の現況

- ・北海道中央バス(株)(町内2路線)
- ・ジェイ・アール北海道バス(株)(町内2路線)
- ・夕張鉄道(株)(町内2路線)
- ・スクールバス(町内3路線)

## 協議会開催状況

- 令和2年7月22日  
令和2年度第1回南幌町地域公共交通活性化協議会開催  
報告事項: 令和元年度町内巡回バスアンケート調査結果について  
協議内容: 南幌町生活交通確保維持改善計画(案)について
- 令和3年1月15日(書面開催)  
令和2年度第2回南幌町地域公共交通活性化協議会開催  
協議内容: 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

## 令和2年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

平成14年度 町内巡回バス運行開始  
 ※運賃: 大人150円、子ども80円、火～土曜日4便運行

平成18年度 運賃及び運行曜日変更  
 ※運賃: 大人160円、月・火・木・金曜日4便運行

平成20年度 障がい者料金の設定  
 ※障がい者5割引

平成22年度 運賃及び運行曜日変更  
 ※運賃: 大人200円、子ども100円、月・金曜日3便運行

平成23年度 デマンドバス実証運行及び利用者アンケート

平成25年度 運行曜日変更(※火・木曜日3便運行)  
 運行経路変更(※地域フィーダー系統)

平成26年度 利用者アンケート調査(満足度等)

平成27年度 利用者アンケート調査(満足度等)

平成28年度 運行経路変更・利用者アンケート調査(満足度等)

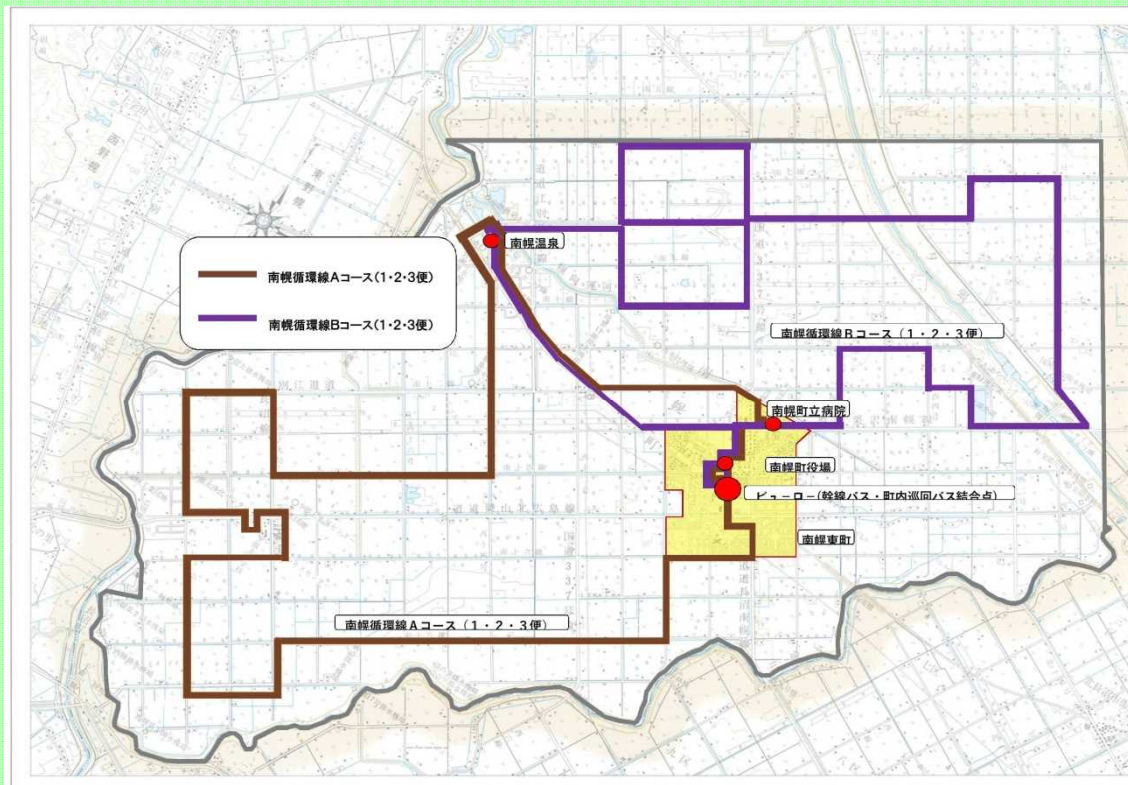
平成29年度 利用者アンケート調査(満足度等)

平成30年度 利用者アンケート調査(満足度等)

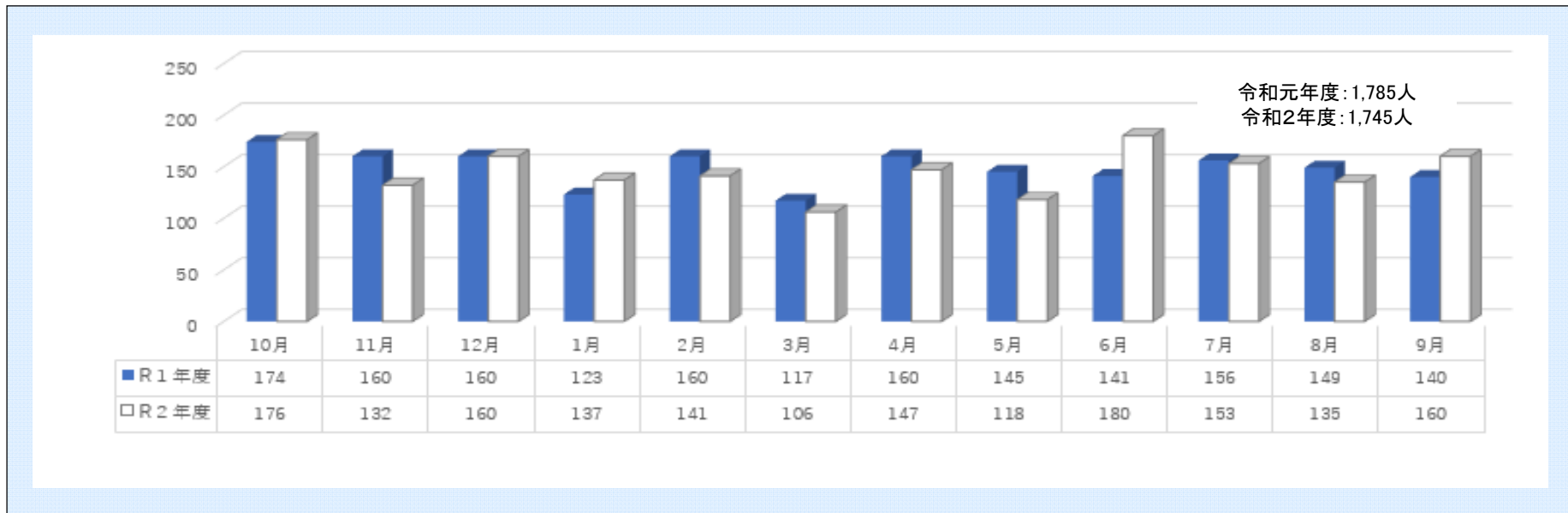
令和元年度 運行経路変更・利用者アンケート調査(満足度等)

令和2年度 利用者アンケート調査(満足度等)

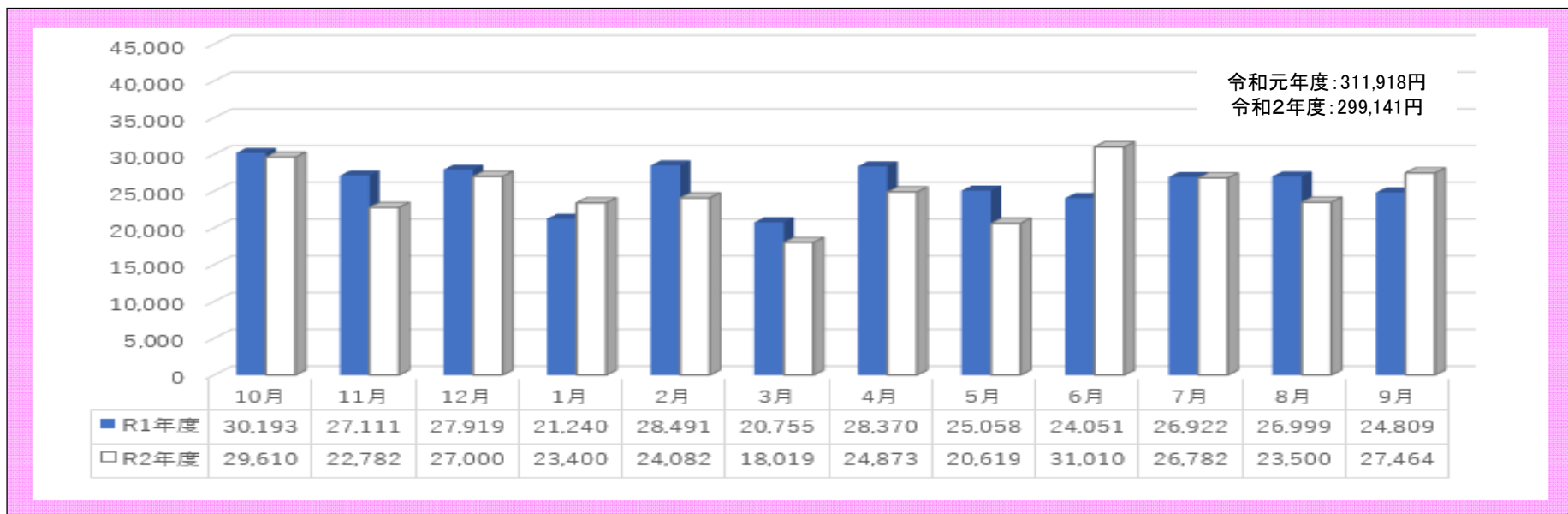
### 2) 運行系統



### 3) 利用実績



### 4) 収入実績



## 5) 事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

### 【目標達成状況】

①目標値(1日平均利用者数)20人に対し、実績は1日平均17.5人(運行日数100日、総利用者数1,745人)で目標を下回った。

・現状分析としては、週に1~2回利用する常連利用者が半数以上であり、全体の利用人数に係る一人当たりの利用回数が多いため、常連客が利用しなくなった場合に、全体利用者数に大きく影響してしまう傾向が強い。加えて当該年度は、新型コロナウイルス感染症に係る外出自粛期間等が長期間継続したことにより利用人数が伸び悩んだものと推察する。

②目標値(満足度)90.0%と設定していたが、年度中に予定していた聞き取り調査が新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができず、満足度としては把握できなかった。(参考代替項目※60代以上の町内居住者1,309名にアンケート調査を実施:巡回バスの認知度82.5%、将来利用を考えている方38.7%)

### 【効果達成状況】

交通空白地域に居住する方の足の確保、また、高齢者の外出機会の増加及び交流の促進が図られた。

## 7) 事業の今後の改善点

町内巡回バスは、利用者の聞き取り調査に係る意見・要望等を踏まえ平成30年10月から一部運行経路を変更したところであり、利用者数は年度によって若干の増減はあるものの、ある程度安定して維持されている。

交通空白地域の足の確保として、日常生活に必要な交通機関となっており、継続して運行している。

全体利用数が、利用頻度の高い常連客に依存している傾向を踏まえて、新たな利用者の発掘と利用の定着を図るため、従前の取組みに加えて、町内催事に合わせた臨時特別便の運行を行う。

### 【実施内容】

- ・アンケート調査
- ・広報誌等を活用したPR
- ・町内催事に合わせた臨時特別便の運行(年2回)

## 8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・新型コロナウイルスの影響により、利用者数の目標は達成することができなかったが、利用者へのアンケート調査の結果を分析・検証することにより、利用者ニーズのくみ上げを行い、更なる利用促進の取組を期待する。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただくとともに、継続的に維持していくためにも、地域公共交通計画を策定することを強く期待する。